

## ヴィゲン・ハルチュニャン研究員（アルメニア）



はじめまして。私はアルメニアから来ましたヴィゲン・ハルチュニャンと申します。私は、アルメニアにおいて、様々な防災活動を主な活動とする国家地震防災研究所（NSSP: National Survey for Seismic Protection）につとめています。NSSPでは、西部地震調査所において、地震評価センターの部長として従事しています。

私が所属する部署は、NSSP が設立以降、主に災害情報に関する管理・監視に努め、データの分析と同様に、地球物理、地球化学、地震ネットワークシステムから得られた情報を蓄積し、24時間対応のオペレーションを実行してきました。

アルメニアは先進国を目指して前に進もうとしています。私たちは、世界中の科学分野からの専門的知識を得て日々更新し、アルメニアの継続的開発に寄与すべく頑張っています。そこで、ADRC の客員研究員プログラムから得られる理論と経験などから、ミレニアム開発目標（MDGs）の貢献に適用できるだろうと思います。

ADRC の客員研究員プログラムに参加できたことはとても良い機会だと思います。きっと、多くの知識やノウハウをここで得ることが出来ると思います。この分野における日本の方法論を得ることにより、私の業務はより実践的になり、データ解析の問題解決により焦点をあてられると思います。さらに、私の組織における防災活動の分野に役立てられるような、技術や方法を得ることができだろうと確信しています。

今回得られる情報と実際の経験は、NSSP およびアルメニアのために、非常に重要な要素となることであるということを、最後に述べさせていただきます。